



支那事變論功行賞

石城郡關係者十七英靈

支那事變に於ける戦死傷病者に對する第十五回論功行賞は昨十五日發表されたが、英靈の礎石となつて散華したる英靈をはじめ遺家族の恩賞の光榮に武勳の賞讃と感謝新なるものがある石城郡關係の殊勳者は左記の如くである

- ▲功五旭六砲中尉服部宗右衛門(飯野)功六旭七を砲曹星野嘉久治(平)瑞八上富田行雄(同)功七旭七歩伍江正美(大浦)
- 尻武雄(上野)功七旭八國分一夫(内郷)同太田賢(植田)同瑞上鈴木清美(永戸)同工上淺野淺之助(好開)同工上山崎虎男(泉)旭八瑞上佐藤榮吉(同)同瑞上溝井正美(同)同歩伍木村三右衛門(大野)同瑞上渡邊三右衛門(草野)同同瑞田武(荷路夫)同同角田正久(錦)同同國井國一(入遠野)瑞八工上新妻正美(大浦)

故井上翁の記念碑

昨日物見ヶ岡で盛大な式

故平消防組頭、頭徳除葬式は昨十五日午前十一時から執行した。参列五百餘の盛況で一同の席定まつて神職の修祓後、故翁の令孫和子嬢葬を修祓降神、祝詞型の如く祭文終つて各代表の玉串奉奠同記念碑建設會長關内正一氏の挨拶並に來賓の式辭ありて式を閉じ安に移つて再び關内會長から建に至る経過及び経費報告を兼ねたる挨拶、大日本消防協會副會長松井茂博士の祝辭、青沼平市長、柴田平署代、佐藤神谷村長その他何れも翁生前の徳を讃へた祝辭を述べ午後一時半散會したが碑は「消防報國」の條額並びに

防空模範訓練

家庭群の實演

平署管下一市十八ヶ町村消防團幹部講習會は縣から佐藤警部、荒川警部補出張する十四五兩日平第三校に開催、自衛團の受講を合せて五百餘名の講習生であつたが十五日は午後一時同校庭で南町廿三部隊防空群(群長與崎千代松氏)の模範訓練があつた同演は操縦、機銃の投下、特許消火砂袋及び梯子の操作並びに屋上その他の高所の場合竹綱

日刊 毎日新聞
支那事變論功行賞
石城郡關係者十七英靈
故井上翁の記念碑
昨日物見ヶ岡で盛大な式

勉強を功と稱へてエウケン、復習は温習でウエン、シ、唱歌は同じく唱歌でチアンコ、地理をチイリ、地圖をチイトウ、歴史をチオ、シ、折學をチオ、シ、ニエと呼んでゐる。

警防團と家庭群

知事から表彰

平第三校に開催せる警防幹部講習會昨十五日終了の席上に於て去る八月五日の暴風に際し岩壁防護防波堤等危険を見るに當り全出動で之が防禦

戦地の便り

郷里の便りが一番

士氣を鼓舞させる

拜啓、大暑の候皆々様にはますます御健勝の由、誠に欣喜に存じます、先日は御手紙かつ澤山の慰問品まで御送り下さり有難く頂戴いたしました、銃後皆々様の熱誠ある御厚情には唯々感謝あるのみです、厚く御禮申上げます、小生も其の後元氣にて軍務に精勵いたし居ります何卒御放念下さい、また軍務に取紛れ存容赦願ひ致します、光陰矢の如しと全く日月の流れは早いものです、皆様の御見送りの中に平のホームを離れてより五ヶ月、今は軍務に大分馴れて参りました、〇月〇日一期の検閲を終へました、遠く故郷を離れて見ますれば何んと言

植田驛に

准急も来る

昨十五日から常磐線植田驛には從來准急列車の停車がなかつたが昨十五日(平驛午前〇時五十五分上野五時三十四分)から停車(植田午前一時二十五分)する事になった、停車時間は一分である

結露であります、入隊以來はじめて足先まで透き通る風呂には入つて見ましたしかし結露だからと云つて喜び過ぎたり、油断することにはなりません、清洲に於ける病菌を到るところに投じられて居るそうです

平市會

明後十八日

平市會は明後十八日午後一時招集、上記諸件を附議する

平市体操大會

第十回明治神宮國民体育大會

は來十一月三日舉行されるがこれにあらば地方大會の平市オによつて左記各校に体操大會を催す皆で一般市民は各最寄りの會場に参加されたいと

陸奥路の笹龍膽旗を

迎へて

尤も其の前に、本多、志賀氏等の意見では、該史實の論據に關して、今秋の内一兩日間に、講演を小學校で催したいとて、予の招請を議案されてゐたことであるが、時局柄致れも忙しので、未だ其の下警までには決してゐない。

田女 平陽女 平第一、二、三、四の各校(以上) 人絹のチブス 既に二十名 石城郡錦村の呉羽人絹工場にまた、勝チブス流行の兆あるは既報したが去る十三日平細齒所から皆川本縣衛生技師出張検査の結果意外に續發が多く既に二名の死亡を出だし現在二十名に近い患者に上つてゐる

水上の水神社祭

平市上水道の水神社祭

平市上水道の水神社祭は昨十五日午前十時八幡小路配水池構内の同社前に執行され市役所員、市議、區長、新聞記者その他五十餘名参列、神職の修祓、祭主の祝詞ありて市長以下前記各代表の玉串奉奠後簡素な祝宴を催して正午近く祭禮を終つた

出征軍人遺家族

宅の稻刈手傳

石城郡勿來町此の程青年團青年學校、小學校等後奉仕班の申合せをなして來る二十五日一齊に町内出征軍人遺家族宅の稻刈手傳をなすことに

大工の住居侵入

石城郡水戸村の合戸字入敷生

石城郡水戸村の合戸字入敷生好間村北好間の寺前居住大工職野初男(三)は去る十四日午前三時五十分頃同村上好して、正に跨るべき千載の紀念でないか。従つて小松侯爵の該文は、

問字稻荷下四一佐々木誠虎方が娘某(三)のみなのを見て忍び込んだばかり(家人の歸宅に見とがめられ庭の隅にすくんだところを捕はれ平沼の取調への上住居侵入で是局

稲刈其他の賃銀

石城郡勿來町農會では來る稻刈その他收穫期の賃銀を左記の如く決めた

▲稻刈り日給男一圓 女九角 稻刈り一反歩渡し男十錢 女八錢 稲刈り日給男一圓二角 女一圓 圓二角 女一圓

コソ泥捕はる

石城郡湯本町傾城二日雇業神

山政(三)は去九月十四日同町辰の口五一雜貨商大矢七六方店頭の生ビール一本價一圓半及及び七月中旬不詳には入山六坑下湯川野天風呂で所有者不明の人絹兵兒帶價一圓の窃盜が發覺さる

警城水工の總會

小名濱町警城水産工業株式會社では來る二十一日午後一時から同社樓上に於て定期總會を開催する

吉野朝臣 廣橋經泰卿東北勳皇忠烈之証とし、是の左方には御署名である、更に當の裏面には、本多子爵が自書して、昭和十四年十一月三日 泉南朝忠顯彰會 會長齋藤藩主子爵本多忠晃之、外有建之とされた。但し現村長江尻博孝氏を擧げて之が建碑委員長となし、碑石費一切を寄附す

訓育院の 學藝會 來る二十二日 警城訓育院では來る二十二日(日曜)午前八時半から學藝會を開催の筈だが演藝左記の如く、曲も及ばぬ遊藝には例年賑々されてゐる所である

學藝會

來る二十二日

警城訓育院では來る二十二日(日曜)午前八時半から學藝會を開催の筈だが演藝左記の如く、曲も及ばぬ遊藝には例年賑々されてゐる所である

御誂の御製品の 高島屋洋服店 土曜三日六

産業方面

米穀配給の統制法(二)

第六、延べ取引の受渡しその他の決済に業務規程の定むるところに依り日本米穀株式会社を経てこれをなすことを要すること、

第七、第二乃至第六に定むるもの、外米穀市場の買買取引の方法その他買取引に關し必要な事項は命令をもつてこれを定むること

第八、米穀配給統制法第七條の價格の範圍は米穀統制法第二條の最低價格及び最高價格を基準とし米穀の格差及び運賃掛り等を參酌して各市場毎にこれを定むると、組合せ銘柄についてはその標準物につき前項の規程に準じ價格の範圍を定むること、

前二項の規程に依り定めたる價格の範圍は農林大臣これを告示すること、

第九、米穀市場の市場員たることを得るものは次に掲ぐものにして當該米穀市場の地區内において店舗または事務所を設けて米穀の買買取引を爲すものとする

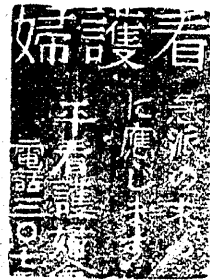
(一)米穀の卸賣業者(二)米穀を取扱ふ商業組合聯合會(三)米穀を取扱ふ産業組合聯合會(四)その他農林大臣及び商工大臣の指定するもの、

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社
印刷部

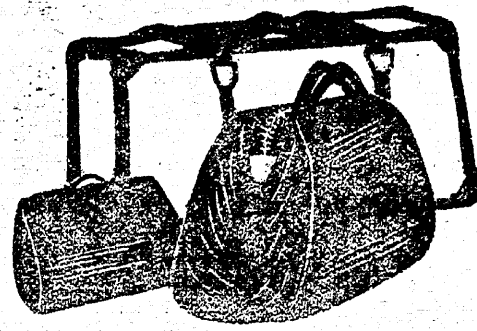
命の御用肉は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢



カバと洋品類



眞砂屋 (平市前驛) (電話五六)

お醤油は

ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鯉節食料品

合

山崎合名會社

明治生命醫城代理店 山崎與三郎

助腹氣管支氣管神經痛肺炎口イマチス
……扁桃腺中耳炎骨髄腰痛ぢ疾……

生公華

……薬價……
九十五錢
二四十五錢
四四十五錢

……湯布で名薬……
山野邊藥局

治淋新薬 號七〇六

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備

木村病院

平市新川町九一 電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町 電話五一五番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

電話五九二番

に變りました

レストラン サロン

平市銀座街

秋より冬にかけて 婦人洋品

シヨールと防寒具

可愛い子供さんのお帽子とお洋服

豊富陳列して御座います

ツルヤ 4 平電140

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町一 電話三六九番

内科 院長 鈴木定藏
小兒科 副院長 土井利明
外科 副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

診察時間 毎日午前八時より午後九時まで
……夜間診察に從事す(急患は此の限りにあらず)

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し
内科、小兒科の診察に從事せしむ

平病院

(平市公共病院) 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏

食品廉賣は

高久商店

……

便利で經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です

平市白銀町十番地 (電話七二三番)

日下家政婦會

會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)を御誘ひ致します(編物をお教授致します)